

令和 5 年度

# 中学校 A 日程入学試験問題

国 語

## 受験上の注意

- ◎ 時間……………50 分
- ◎ 解答はすべて、別紙解答欄<sup>らん</sup>に記入すること。
- ◎ 字数制限のある場合、句読点、カギなどの  
記号も字数に入れるものとする。

第一問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

高校二年生の宮田佳乃は成績優秀で、ピアノの才能にも自信を持っていた。しかし、後輩の優れたピアノの演奏を目の当たりにし、才能の差を思い知らされた。自分に残された道はもう勉強しかないと考えた宮田は、夜も眠らずに勉強にのめり込むようになった。

しばらくして、宮田は悪夢で目が覚めた。

「あ、起きた？」

食堂閉まっちゃったよ、とジャージ姿の馨が二段ベッドの上の宮田を見上げた。

「なんか宮田、すごい勢いで寝てたからさ。起こさなかった。お風呂はまだ開いてるよ」

私はこれから ※<sup>1</sup> 義務学習、とノートをトントンと タバねる音が聞こえる。

「……馨、八月の ※<sup>2</sup> 全統の結果見た？」

① 手の指がバラバラに動くことを確認しながら、宮田は馨に問いかけた。目の前の現実を、きちんと確かめるために。  
「え、返ってきたの？」

「きた。あんた今日、授業終わってから学校来たから担任に会ってないでしょ。明日の朝にでも返されるんじゃない？」

「マジかあれ ※<sup>3</sup> 自己採やばかったんだよな……」

恐ろしい夢の中で、宮田の指はすべて腐り落ちていた。

「次の模試ってまた国数英だったけ？」

「それプラス、理科と地歴」

うーわ夜までコースじゃん、と馨がコミカルな悲鳴を上げる。

馨というのは楽だった。この数日間に起きた自分の中の変化を知らない人間がいるというだけで、宮田の気持ちは軽くなった。

「宮田はどうだった？ 全統」

「過去最悪」

「ウソ!? 珍し! ついに二位からも落ちた!」

「それはない」

万年三位の私に向かってお前、と馨が ※4 自虐を込めて言う。

中学の頃から馨は宮田と奥沢のすぐ下の成績をキープし続けていて、常に三番手だった。高校入学時の特待生に受かったのも、馨と奥沢だけだった。

※5 謙虚を装う奥沢とは違い、馨は自分は頭が良いのだと公言して ※6 憚らず、勝手にライバル視をされて面倒だった頃もある。

「卒業まで一回は宮田を下すわ。せめて ※7 定期で」

「私もそれがいいと思う」

「つかうるせく……」

② 昔はうざったかったそれが、今はどうしてか安らいだ。順位だとか点数だとか、そういう話だけをしていきたいのだ。

ペーパーテストは純粹だ。面倒なことは絡まない。シンプルだ。

宮田はベッドの梯子を下りながら、ふと札幌の話を出した。

「そういえばあんた、結局冬のトライアル行くの?」

かねてから医学部を目指していた馨は、医学部予備校の集中 b コウギを受けるために冬休みは札幌に行くかも、と言っていたのだった。

「あゝ。あったね」

「それだあってあるんだから、そろそろ本当にギア上げないと遅れを取るよ」

先輩や教師でもないくせに、③ うぬぼれた台詞が ※8 口を衝いた。

「それなんだけどさ。私、医学部受けるのやめるかも」

「え？」

軽い口調で打ち明けられて、宮田は④ 思わず笑ってしまった。それが何を意味しているのかを理解するまでに、少しの時間が必要だった。

医学部を受けるのを、やめる？

「やめるっていうか、元々そんなでもなかったっていうか。適当な目指し方してたから結構恥ずかしくてさ、いま思うと。ちょっと本当に恥ずかしいな、これ」

数年前のビデオレターでも見ているかのように、馨はもうそれを過去のものとして、過剰に恥ずかしがっていた。それに宮田はまるでついて行けず、ひどく裏切られたような気持ちで、その場に立ち尽くしていた。

ドアの向こうで、誰かが廊下を駆けていく足音が聞こえる。それを ※9 とが 咎める杉本の声も。

星見寮も、人数が増えて騒がしくなった。

人も、場所も、変わって行く。

「実家で色々あってさ。何から言ったらいいのかなー」

「進学の中で親と揉めたってこと？」

「え？」

「そんなの、あんたが昔から言ってたことじゃん！」

宮田が ※10 語気を荒らげると、違う違う、と馨は慌てて否定した。

「揉めてないって！ なんで宮田が怒ってんの？ 成績の問題でもないし。いや、成績の問題ではあるな。あるわ。あるけど、それより何より私が、今まで全然真面目に自分の将来について考えたことなかったなって今回思っって」

「将来って……」

何を子どもみたいなことを言ってるんだ、と口走りそうになって、宮田は ⑤ 自分の考えがおかしいことに気がついた。

「おばあちゃんの病院、出入りしてるうちに気づいたの。私って本当にお医者さんになりたいわけじゃないんじやない？ っって。」

医学部に入る！ とかずっと ※11 豪語してたけど、医者っていう職業自体には言うほど興味がなかったのかも。だって、普通、興味があつたら病院の中なり主治医の先生なり、気になるもんじゃん？ たぶん」

「……そんなの、気が動転してたからでしょ？」

「いや、念のため検査入院はしたけど、おばあちゃん本当に全然大丈夫だったの。超大袈裟に連絡が来ただけで。ほら、うち、みんな大袈裟だから」

馨の家は大規模な農場を営んでいた。家族写真を見たときに、馨が六人いるみたいだ、と思ったことを思い出す。

「深刻な心配する必要がなくなったおかげで、⑥ そういうこと色々考えちゃって。一度考え始めると止まらないじゃない？ そういうの。最近、模試の成績もあんまりだし、医学部は無理なのでは？ と思い始めてたから余計に」

宮田は、由梨の言葉を思い出し出していた。

佳乃ってさ、将来何になりたいとか、あるの？

「で、ここから話が急なんだけど……家の裏に住んでるおじいちゃんが病氣したから顔見せてきな、って唐突にお母さんから言われて。小さい頃お世話になったんだからって言われてもあんまり覚えてないんだよな、とか思いながらも一応行ったの。裏の家。裏って言うても遠いんだけど。そしたら丁度、庭に白髪のおじいさんがいたから、北野農場の馨ですーって呼びかけてみたら、喜んでくれるっぽかったのね。でも、声が出てくるまでにかなりかかったのね。その光景が衝撃的でした」

おばあちゃんから病状の話聞いてたら、言語の先生、って言葉が出て来たから、それはなんですか？ って聞いてみたら、そういう専門職があるんだって教えてもらって、調べてみたら興味湧いて、と、馨は ※12 饒舌に喋り続けた。

一メートルも離れていない馨と自分との間に ⑦ 明確な境界線が引かれたのがわかって、指の先さえ動かさない。

由梨も、馨も、どうしてみんな、自分の進路に理由があるの？

「ちょっとー聞いてんの？」

ひとりて語ってるみたいで恥ずかしいじゃん、と馨はいつものテンションで ※13 捲し立てた。

「……聞いてるよ」

「でき、調べたら国立公立大学で⑧言語聴覚士の資格取れるところあるみたいなんだよね。だから今度から、そっちで模試の判定出そうと思って。何にせよ受験はするから、やること山積みなんだけど」

宮田を負かしてからじゃないと卒業出来ないしね、と笑う馨を、いじり返す余裕よゆうなど残されてはいなかった。

※14 解像度が粗いんじゃない。

私は、自分の将来について、考えたことなど一度もないのだ。

「また面談あるからさ、それまでに資格関係の本でも探してみようかな」

夢を語る馨の瞳ひとみには、どこか自信がみなぎっていた。

将来の夢を語ることが、幼稚ようちだと感じたのは何故なぜなのか。それは自分が幼少期以降、それを許された例たてしかなかったからなのではないか。

自分だけがまだ漠然ぼくぜんと、『※15 東大のピアノ科』を目指しているだけなのだ。

(安壇美緒『金木犀きんもくせいとメテオラ』より)

- ※1 義務学習 … 寮内で決められた自習時間。
- ※2 全統 … 模擬試験の一つ。
- ※3 自己採 … 自分のテストを自分で採点すること。
- ※4 自虐 … 自分で自分を悪く言うこと。
- ※5 謙虚 … 言葉や行動がひかえめなこと。
- ※6 憚らず … ためらわず。
- ※7 定期 … 決められた時期に学校で行われるテストのこと。
- ※8 口を衝く … つい言ってしまうこと。
- ※9 咎める … ここでは、注意すること。

- ※10 語気を荒らげる … 強い調子で言うこと。
- ※11 豪語 … 大きなことを自信たっぷりと言い切ること。
- ※12 饒舌 … よくしゃべるようす。
- ※13 捲し立てる … いきおいよく続けてしゃべること。
- ※14 解像度が粗い … ここでは、宮田の将来の見通しがぼんやりとしてはっきりしないこと。
- ※15 東大のピアノ科 … ここでは、勉強でもピアノでも一番になるという意味。

問一 〰〰線 a 「タバネる」、b 「コウギ」を漢字で答えなさい。

問二 〰線①「手の指がバラバラに動くことを確認しながら」とありますが、そのように確認をしたのはなぜですか。「から」が続く形で本文中から二十五字以内で探し、初めと終わりの三字を抜き出して答えなさい。

問三 〰線②「昔はうざったかったそれが、今はどうしてか安らいだ」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「それ」とは馨が、だれをどうすることを指していますか。本文中の言葉を使い、解答欄にあわせて二十字以内で答えなさい。

(2) 「安らいだ」のはなぜですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、馨の明るさにつられて前向きな気持ちになれるから。

イ、宮田よりも順位の低い馨を見ていると安心できるから。

ウ、馨と勉強の話をしていると他の悩みなやを忘れられるから。

エ、一生けんめい努力をする馨の姿から勇気をもらえるから。

問四 〰線③「うぬぼれた」とありますが、「うぬぼれる」の意味として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、相手のことを思いやってはげます。

イ、相手のためにわざとときびしく言う。

ウ、自分を良く見せようとおごまかす。

エ、自分をすぐれていると思っ得意になる。

問五 〰線④「思わず笑ってしまった」とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、馨のいいかげんな発言に腹を立てたが、「冗談じょうだんを言い合える二人の関係をこわしたくなかったから。

イ、医学部志望の馨からは考えられない発言だったうえに、ここまでの二人の会話が軽い内容だったから。



ウ、馨と正面から向き合って真剣な話をするのが恥ずかしく、その気まずい雰囲気ふんいきを変えたかったから。

エ、今さら医学部の受験をやめることはできないのに、平気でわがままを言う馨にあきれてしまったから。

問六 — 線⑤「自分の考え」とありますが、それはどのようなものですか。「という考え。」が続く形で本文中の言葉を使い、十五字程度で答えなさい。

問七 — 線⑥「そういうこと」の内容として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、自分は医者ではなく農家になるべきではないだろうかということ。

イ、自分が寮に帰った後に祖母の病状が悪化しないだろうかということ。

ウ、自分が医学部に行くことに家族は賛成してくれるだろうかということ。

エ、自分はこれまで本気で医者になろうと考えていただろうかということ。

問八 — 線⑦「明確な境界線」とありますが、これは宮田と馨のどのような違いに引かれたものですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、宮田は将来のことを何も考えていないが、馨は具体的な目標を定めているという違い。

イ、宮田は気持ちを表すのが苦手だが、馨は気持ちを言葉で表すことが得意だという違い。

ウ、宮田は成績の順位ばかりを気にしているが、馨は順位を全く気にしていないという違い。

エ、宮田は進んで人と関わろうとしないが、馨は多くの人と関わりを持っているという違い。

問九 — 線⑧「言語聴覚士」とありますが、この仕事を馨が目指すきっかけになったおじいさんとのできごとを、本文中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

第二問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ラジオを聴く。①、TVを見る。AMもしくはFMでも、BSもしくはCSでも、わたしたちの国ではどのプログラムも放送局ごとに、時間別に編成されているのが、普通です。音楽ならば、クラシックの番組があって、終わると※1邦楽になり、それが終われば若い世代のための※2ポップスになり、さらにいつか古い世代のための古い歌謡曲になるというふうに、時間ごとにまったく聴き手が違うだろう音楽が変わってゆきます。

そうした時間の区切り方は、ラジオであれTVであれ、どの局もほとんど変わりません。いくつもの放送局がおなじ時間に、おなじような番組をおなじように組んでいます。しかし、いずれ、アメリカなんかですでに①そうであるように、時間ではなく、放送局で違うというふうに、プログラムそのものが局で違うというふうにならなければ、時間で違うという今のやり方では、どれほどTVのチャンネルがふえ、ラジオ局がふえても、どんな※3技術革新をもってしても、一日を二四時間以上にすることはできない以上、どうあってもたがいに、②おなじ時間をとりあう貧しい結果しか生まないことは、確かです。

情報は※4逆説的な本質をもっています。情報がふえればふえるほど、情報はじつは増大するのでなく、その反対に限定されて感じられるようになり、手もちの時間は豊富になってゆくどころか、逆にどんどん減ってゆくようにしか思えなくなるような逆説的な結果を、しばしばもたらすからです。

人の一日の時間の量は変わらないのに、情報だけが飛躍的にふえてゆけば、どうしようもなく足らなくなってしまふのは、時間のほうです。埋めつくされればされるほど、他の何も容れられなくなり、余裕がなくなってゆくのが一日の時間です。

情報というのは、その意味では、時間を※5占有することです。情報は「私」の経験を足してくれるものでもなければ、「私」の時間を足してくれるものでもありません。

さまざまな情報が時間の占有を競いあい、※6せめぎあっているというのが、今日わたしたちをとりまく一日の時間のありようであり、そうしたゆとりのない時間のありようのなかにとりわけ見つけにくくなったのが、③読書の時間です。

音楽にしても映像にしても、聴いていなくとも見ていなくとも、何もしなくとも勝手に時間が過ぎていってくれるけれども、自分で読まなければ、本の時間は過ぎていってくれない。音楽はかけっぱなし、TVはつけっぱなしでも、こちらに構わずに終わる

ときに終わる。けれども、本は開きっぱなしにすれば、そのままいつまでも先にすすまないし、終わらない。本は読まなければならない。しかし読むのになくはならないのは、時間です。

本というのは、自分で、自分の時間をちゃんと使わないと機能しない<sup>※7</sup>メディアなのです。その本の一二ページを開いて、読むのをやめて、ちょっとどこかへ行ってもどってきたら九二ページですすんでいたなどということがないのが、本で、自分が一〇〇ページまで読まない、けっして一〇〇ページまですすまない。

2、きちんと本とむきあおうとすれば、どうしたって自分の時間の使い方という問題に直接係<sup>かか</sup>わることになる。読書というのは自分の時間の使い方<sup>かた</sup>の問題なんだということは、たとえば子ども本について考えるとよくわかるのです。

子どもたちの本が好きなら、だれもが知っている絵本に、レイモンド・ブリッグズ『ゆきだるま』という絵本があります。あるいは、「ある犬の物語」という副題をもつガブリエル・バンサン『アンジュール』という絵本があります。『ゆきだるま』も『アンジュール』も絵だけの絵本で、言葉のない、テキストなしの絵本です。<sup>※8</sup> 原本と訳本<sup>やくほん</sup>の違いは、書名がアルファベットか、カナかの違いだけです。言葉はないので、こうした絵本の場合、言葉をたどって意味をつたってゆくことができませぬ。

このような言葉のない絵本は、どう読めばいいのでしょうか。最後のページまで、いったいどれくらいの速度で、どれくらい時間をかけて、ページを追ってゆけばいいのでしょうか。『ゆきだるま』や『アンジュール』は、言葉のない、もともと単純<sup>たんじゆん</sup>な絵本です。単純な絵本ですが、よく考えるところでもない本です。絵本というのは文字があっても、文字自体、言葉自体がすくなく、文字を追うだけならあつという間に読めてしまう。しかし絵本は、けっしてあつという間に読むための本ではありません。

文字がおおい本であればあるほど、本の読み方は、じつは単一です。ただただ文字を追う、意味を追えばいいので、本によっては、<sup>※9</sup>興にまかせてぱーっと読みとばしてもいい。

3、絵本の読み方はそうはゆきませぬ。

絵本には決まった読み方がありません。子どもたちの絵本の読み方をみれば、自由勝手に、ときにはゆきつもどりつ、目で読み、声にだして読み、また繰り返<sup>く</sup>返し、繰り返<sup>かえ</sup>し読んで、その読み方はまったく単一ではありません。

絵本のような子ども本から手わたされるのは、その絵本もっている時間です。もう一つの時間、アナザー・タイムが、そこにある。絵本を読むというのは、絵本のもつ時間<sup>かじゆん</sup>の感触<sup>かふし</sup>が自分のなかにのこってゆくという経験です。

そのように、本を読むというのは、その本のもっている時間を手に入れるということなのだということを、よくよく考えたいのです。読書はただ、言葉を読むというのとは違う。<sup>④</sup> 絵本のような子どもの本の読み方に教えられるのは、読書というのは自分の時間の手に入れ方なのだ、ということなのです。

(長田弘『読書からはじまる』より)

- ※1 邦楽 …… 昔から日本で伝統的に演奏されてきた音楽。
- ※2 ポップス …… 主にアメリカやヨーロッパで作られる若者向きの音楽。
- ※3 技術革新 …… それまでであった技術を、すっかり新しいものに変えること。
- ※4 逆説 …… 一見間違っているように見えるが、よく考えるともう一つの真実を表している説。
- ※5 占有 …… 自分の持ちものとする。ここでは、情報がすっかり時間を支配すること。
- ※6 せめぎあう …… たがいに争い合うこと。
- ※7 メディア …… 情報を伝える仲立ちとなるもの。
- ※8 原本と訳本 …… ここでは原作と、それを外国語に言いかえて作られた本。
- ※9 興にまかせて …… 面白みを感じるままに。

問一 — 線①「そう」の内容として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、どの局もほとんど同じような時間帯に、同じような番組を放送していること。

イ、どの局もほとんど同じような聴き手を対象にして、番組を放送していること。

ウ、放送局ごとに、プログラム自体を違うものにして、番組を放送していること。

エ、放送局ごとに、違う聴き手にも、同じような内容の番組を放送していること。

問二 — 線②「おなじ時間をとりあう貧しい結果しか生まない」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「おなじ時間をとりあう」とありますが、この部分の内容をくわしく説明した一文を本文中から探し、初めの五字を抜き出して答えなさい。

(2) 「貧しい結果」とありますが、A「どういうこと」によってB「どうなる」ことをいったものですか。本文中の言葉を使って A は十五字以内で、B は二十字以内で答えなさい。

○ A  によって、 B  こと。

問三 — 線③「読書」の特徴として本文に述べられていないものを、次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア、さまざまな情報があふれてしまった今日、テレビやラジオと比べ向き合うための時間がとりにくい。

イ、放っておいても、時間が過ぎてしまえばこちらの気持ちとは無関係に、勝手に終わってくれる。

ウ、自分の時間をちゃんと使って、きちんと向き合わなくては、何一つ機能してくれないメディアである。

エ、言葉があるかないか、多く使われているかなど、内容や種類によって向き合い方が大きく異なる。

オ、すべての本は他のメディアと比べたとき、向き合い方はじつは単一で、どんどん読み進めても良い。

#### 問四

——線④「絵本のような子どもの本の読み方に教えられるのは、読書というのは自分の時間の手に入れ方なのだ、ということだ」とありますが、筆者は、子どもの本の読み方によって読書のどのようなことがわかると言っていますか。最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、読書というのは書かれた文字を追いかけるのではなく、自分の時間を使ってその本を味わうのだということ。
- イ、読書というのは思い切り自分の時間をかけて、最初から最後まで書かれた内容を読みつくすのだということ。
- ウ、読書というのは与えられた時間を自分勝手に使って、思う存分たくさんの本を味わいつくすのだということ。
- エ、読書というのは子どものころに読んだ絵本を思い出しながら、何度も何度もくりかえし読むのだということ。

#### 問五

- 1 3 に入れる言葉として最も適切な組み合わせを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。
- ア、1 たとえば 2 ですから 3 けれども
  - イ、1 たとえば 2 けれども 3 ですから
  - ウ、1 あるいは 2 ですから 3 けれども
  - エ、1 あるいは 2 なぜなら 3 ですから

問六 次の会話文は、後に示すラジオ局四局の平日の番組表を見たA、B、Cの三人がラジオ局の違いについて話し合ったもの

です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

生徒A 「この文章では、同じ時間に、同じような番組が組まれていると書かれていたので、インターネットで四つの放送局の番組表を比べてみようと思うんだ。」

生徒B 「休みの日なんかには、局をいろいろ変えたりするけど、そんなに違いがあるとは思えないな。」

生徒C 「地元にある二つのラジオ局と、全国ネットで番組を提供している二つのラジオ局だね。」

生徒A 「Bさんはああ言ったけど、音楽番組を長時間流しているのは全国局1だけだよ。」

生徒B 「なるほど、そう言われたら、そうだ。気がつかなかったよ。他にどんな違いがあるのかな。」

生徒C 「当たり前かも知れないけど、全国局はどちらも自局で番組を作って、地方局へ提供している。地元局はどうだろう。」

生徒A 「地元局1は全国局2と同じ時間帯に同じ番組を放送していることが多いね。全国で話題になっているものを知りたい時や、今はやりの音楽が聞きたいときによさそう。」

生徒C 「Aさんは地元局1は全国の話題が多く流されているって言うていたけど、よく見ると、天気予報やニュースに関しては、自社で作っている。地域の放送局として必要な情報も流していることがわかったよ。」

生徒A 「本当だ。地元局2は自局の番組が多いけど、ニュースは全国局2から提供されている。地元の情報とのバランスを取ろうとしているのかもしれないなあ。」

生徒B 「番組表で放送局ごとの違いを知るのは、おもしろいね。今度は週間プログラムを調べてみたいな。」

(1) 三人の会話の特徴として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、三人ともラジオ局の違いを説明し合い、互いの知識を深め合っていることがうかがえる。

イ、最初から最後までBは会話に積極的に参加せず、関心をまったく持とうとしなかった。

ウ、一方的に説明するAに負けずにCが話すので、会話に参加できないBはうんざりしている。

エ、AとCを中心に、番組表を具体的に調べることで放送局の違いを見つけようとしている。

(2) 以下の番組表から読み取れることとして最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、どの放送局も自局で制作した情報番組を中心にプログラムを組んでいる。

イ、平日は全国局1だけが音楽番組を放送するが、日曜日は他の局も流している。

ウ、天気予報は、それぞれの放送局が自局で制作した番組しか放送していない。

エ、ニュースだけは、それぞれ自局で制作したものを各放送局が流している。



	地元局 1	地元局 2	全国局 1	全国局 2
6:00	情報(地 1)	ニュース(全 2)	情報(全 1)	ニュース(全 2)
	天気予報(地 1)	天気予報(地 2)		天気予報(全 2)
7:00	情報(全 2)	情報(地 2)	音楽(全 1)	情報(全 2)
8:00	情報(全 2)			天気予報(地 2)
	情報(全 2)	情報(全 2)		
9:00	情報(全 2)	情報(地 2)	音楽(全 1)	情報(全 2)
10:00				
11:00	ニュース(地 1)	ニュース(全 2)	ニュース(全 1)	ニュース(全 2)
	天気予報(地 1)	天気予報(地 2)	天気予報(全 1)	天気予報(全 2)
12:00	音楽(全 2)	情報(地 2)	音楽(全 1)	音楽(全 2)
13:00	情報(地 1)			情報(全 2)

※1 これはある平日に編成された番組表です。

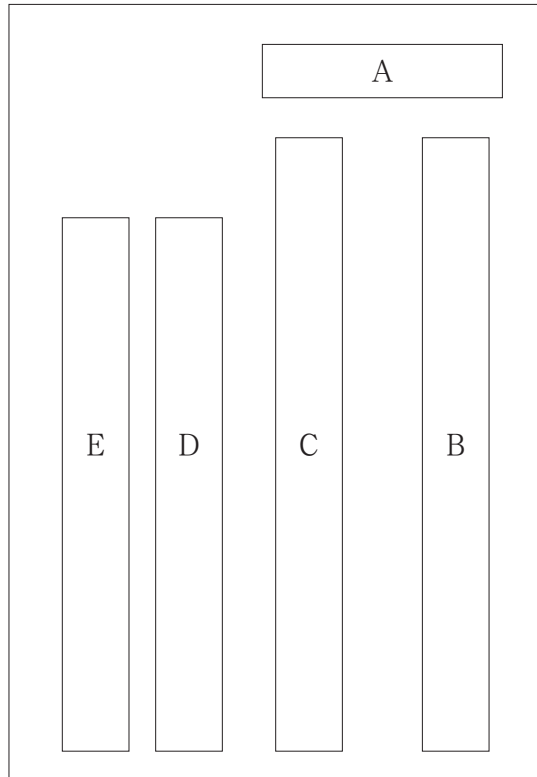
※2 表の中の「地 1」「地 2」とは、それぞれ地元局 1、地元局 2 が自局で制作した番組、「全 1」「全 2」とは、それぞれ全国局 1、全国局 2 が自局で制作した番組を意味します。

第三問題 次の——線部の文字や言葉の使い方が正しければ「○」を解答欄に記入し、間違っていれば正しく訂正しなさい。

- ① 理科の時間にその法則が正しいか確かめるために、実験を試みる。
- ② 来月に行われる運動会に向けて、クラスの連体感を高める。
- ③ 今年の秋は寒暖の差が大きく、体調をこわす人が続出した。
- ④ 駅前のホテルのスイートルームは一部屋に五人も寝れる。
- ⑤ お客様、お食事の用意ができました。どうぞおめしあがりください。

第四問題 ハガキ、手紙について、次の問いに答えなさい。

問一 ハガキの表面の書き方について、次のA～Eの位置に書くことがらを後のア～カから選び、それぞれ記号で答えなさい。



- ア、自分の名前
- イ、相手の名前
- ウ、相手のメールアドレス
- エ、相手の郵便番号
- オ、自分の住所
- カ、相手の住所

問二

次の手紙は、読み聞かせ会のために小学校を訪れた崇徳和子さんに田中さんが書いたお礼の手紙です。田中さんからどちらの手紙がよいか相談されました。あなたならⅠ、Ⅱどちらの手紙を選びますか。選んだ記号に○をつけ、その理由を答えなさい。(Ⅰ、Ⅱどちらを選んでもかまいません。)

I

拝啓 寒さが一段と厳しくなってきましたが、崇徳和子さん、お元気ですか。わたしは元気です。

さて、先日はお忙しい中、読み聞かせ会で学校に来てくださいます。本当にありがとうございます。また、人によって話し方を変えるなど、登場人物が何人もいるのがよくわかりました。今までは、あまり本を読む機会がありませんでしたが、今度、図書室で本を借りてみようと思います。それではまだまだ寒い日が続きますが、お身体には気をつけてお過ごしください。

敬具

令和五年十二月七日

田中まこと

崇徳和子様

拝啓 寒さが一段と厳しくなってきましたが、崇徳和子さん、お元気ですか。わたしは元気です。

さて、先日はお忙しい中、読み聞かせ会で学校に来てくださいます、本当にありがとうございます。崇徳さんの読んでくださった絵本に出てきた何回も生き返るねこが、なぜ最後は生き返らなかったのか不思議に思って考えてみました。わたしは、恋人の白いねこが死んだことで、そんな世界にこれ以上いても仕方がないと考えたんじゃないかと思います。そこまで相手のことを考えるなんてすばらしいなと思いました。

それではまだまだ寒い日が続きますが、お身体には気をつけてお過ごしください。

敬具

令和五年十二月七日

田中まこと

崇徳和子様









令和五年度 中学校A日程入学試験問題 解答欄 らん [国語]

第一問題

問一 a

ねる

b

問二

}

から。

問三 (1) 馨が

20 10

(2)

問四

問五

問六

という考え。

問七

問八

問九 おじいさんが

20 10 30

第二問題

問一

問二 (1)

(2) A

10

B

20

問三

問四

問五

問六 (1)

10

(2)

第三問題

①

②

③

④

⑤

第四問題

問一

A

B

C

D

E

問二

I・II

理由

受験番号

名前

※得点

国 中

※印欄には記入しないこと